



10月16日・17日、奈良県立医科大学学園祭である白檀生祭(かしふさい)が新型コロナウイルス流行という難しい情勢の中、様々な障害を乗り越え、現地開催とオンライン開催の二本立てで実施出来ました。実行委員一同胸を撫で下ろしております。

かねてより今井町と奈良医大の交流は『着物ジャズ』などを通じて脈々と受け継がれておりましたが、今年度は今井町で新企画として『今井町謎解き町歩き』を開催

今井町 謎解き町歩き 開催

奈良医科大学 白檀生祭実行委員
船内 文裕・柴田 智世

いまいは
今

vol. 257

発行	今井町並み保存会
発行日	令和3年11月1日
電話	0744-22-1128
	http://www3.kcn.ne.jp/imaicho/
	e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は 今井景観支援センターまで	

する運びとなり、結果的に2日間で今井町の方も含めて130名以上のご参加をいただくことが出来ました。この成功はひとえに半年前の構想より絶えず多大なるお力添えをいただきました若林会長をはじめ今井町並み保存会の皆様と、なにより今井町民の皆様のご支援あつてのことと存じ、この場を借りて御礼申し上げます。

初日、大学でのオープニングとして恒例になっている若林会長の書道パフォーマンスで白檀生祭の幕を開けて頂きました。今井町においては各副会長の方々が保存会の皆様のサポートを得て、謎解き町歩きを開催しました。この企画は冊子を片手に謎を解きながら、今井町内に張り巡らされた看板を辿ってゴールを目指すというものでした。



道中美しい町並みに見とれ、今井町のサポーターの方々や、我々学生スタッフと話しているうちに、今自分はどこにいるのかと迷われてしまった方も少なくないようでした。この町はもともと戦国時代より自治

都市として大阪の堺と並び栄えた町であり、周囲に堀を巡らして外部の人が町内で迷うようにと創られた町だそうです。昔の方はすごいですね、現代人はスマートフォンを持っていても関わらず迷ってしまいます。

私自身も準備段階から何度も足を運ばせていただきましたが、いまだに迷うことがあります。しかしまさにこれが今井町散策の醍醐味なのではないでしょうか。改めて身近に素敵な場所があるのは嬉しいことだと感じました。



また、道中でAEDシミュレーターを用いて救急処置を学んでいただく体験や、町内の火災に備えた設備について知っていただけるような問題を盛り込み、医学や防災に関しても興味を持っていただける企画になったのではないかと考えております。

今後も今井町と奈良医大の結びつきがより一層強固になることを願って、結びの言葉とさせていただきます。この度はありがとうございました。

檀原市 ふるさと納税

ー 今井町の産品紹介② ー

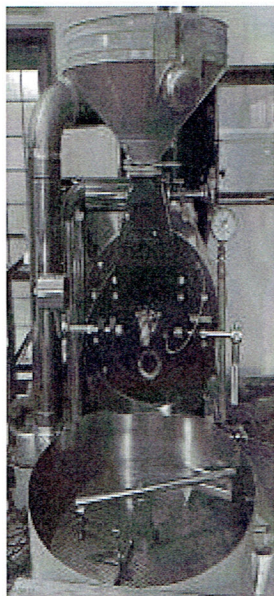
先月に引き続き、ふるさと納税の返礼品紹介をします。

10月9日、「珈琲の富田屋」さんを訪問して、経営者の洲脇大輔さんに今井町に移住して来られた経緯やコーヒー豆について詳しくお話を伺いました。

洲脇さんは、古民家を長年探し求めて活動しているうちに、今井町を見つけました。今井町の静かで落ち着く雰囲気と暮らしやすそうなのが気に入って、2015年春に守口市から一丁目に移越して開業。

富田屋の屋号は、先祖が岡山で商いしていたときのもので、コーヒー豆の焙煎事業は洲脇さんの創業。コーヒー豆の種類は百種類以上あるそうで、「いろんなコーヒー豆で驚きと発見を」をモットーにコーヒー豆にユニークな名前をつけ、自家焙煎して主にネット通販で販売しています。

ふるさと納税への産品提供は2年目で、洲脇さんが選定したコーヒー豆を3種ずつ毎月届ける定期コースに人気があるそうです。



コーヒー焙煎機

10月16日、「大和つけもの十返舎」さんを訪問して、代表者の福嶋学さんにお話を伺いました。

福嶋さんはご両親と一緒に商売に励んでおられます。本店(一号店)は中尊坊通りにあり、すでに10年以上営業実績があります。丹精込めて漬けた新鮮な季節の野菜の漬物に定評があり、昨年には二号店を宮の前で新規開店しています。

ふるさと納税へは、約4年前から参加していて、当初は「大和漬物(浅漬け)10個詰合せ」という品目だけでしたが、量が多すぎるとの顧客ニーズに答えて漬物の種類を減らした低価格帯の品目も追加しています。注文は年々少しずつ増えていて、昨年は約20件くらいの受注があったそうです。

又、9月には檀原商工会議所が地域の優れた産品を認定する「万葉×檀原コレクション」に十返舎の「十返舎こだわりなすの漬物」が選ばれました。



昨年開店した二号店



いろいろのお漬物

中井良雄先生をしのんで

今井町の町家や風景を長年にわたり描き続けてこられた中井良雄先生が9月27日に94歳でお亡くなりになりました。



今井町だけでなく多くの伝統的な町並みを描いてこられ、単なる風景画にとどまらず、そこで暮らしている人々の息吹を感じさせる画風は中井先生の真骨頂だと思います。

今井町並み散歩では毎回、アート展にご出展下さり、当番の人がおられるので先生は家でゆっくりしててくださいとお伝えすると、自分の絵を見に来てくれる人と話をするのが大好きなので会場にいるよとおっしゃる先生の笑顔が今も脳裏に浮かんできます。

中井先生が描かれた今井の姿が後世に残るよう今後も町並み保存活動を続けていきたいと思います。

今井往来

11月12日(金)〜13日(土)於 奈良市
第44回 全国町並みゼミ奈良大会開催
11月14日(日)
全国町並み保存連盟 有志 今井来町